

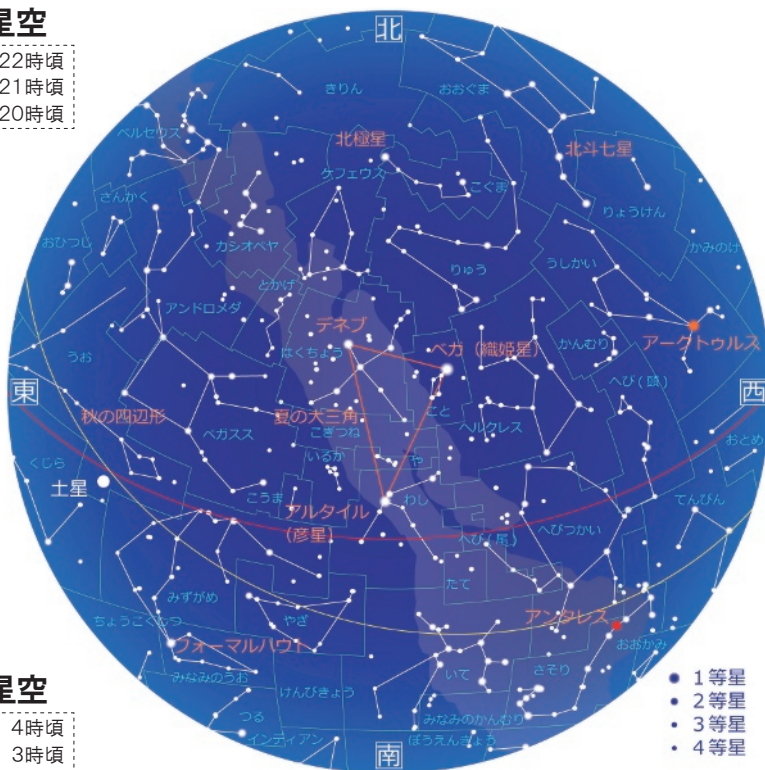
星空ガイド 8月16日～9月15日

よいの星空

8月16日22時頃

9月1日21時頃

15日20時頃

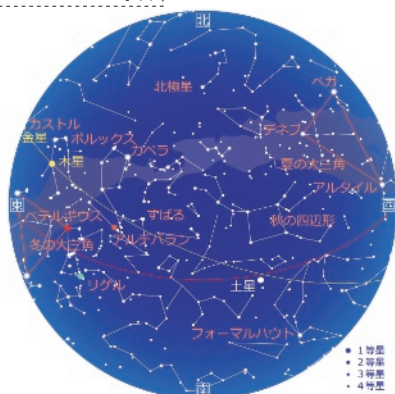


あけの星空

8月16日 4時頃

9月1日 3時頃

15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	土	5:19	18:45	22:46	12:41	22.3
	21	木	5:22	18:39	2:47	17:36	27.3
	26	火	5:26	18:32	8:05	19:55	2.9
9	1	月	5:30	18:24	13:57	23:17	8.9
	6	土	5:34	18:17	17:34	3:27	13.9
	11	木	5:37	18:10	20:05	9:16	18.9
	15	月	5:40	18:05	23:30	13:58	22.9

※惑星は2025年9月1日の位置です。

皆既月食を見よう

9月8日(月)の未明(7日の深夜から日付が変わったあと)に、皆既月食が起こります。

食の始まりは1:27、皆既食の始まりが2:30、食の最大は3:12、皆既食の終わりが3:53、食の終わりが4:57と、皆既の時間がかかなり長い(83分)食になっています。月食の進行は、観察する場所によらないので、インターネット中継などで観察する場合は、どこから中継された月の映像も同じ食の進行になっています。

皆既月食の見どころは、何と言っても皆既中の赤い月です。皆既中の月の赤い色は、地球全体の大気の澄み具合と関係していると言われており、皆既月食のたびに、その色合いは違います。皆既中の月の色を観察して、色鉛筆を使ってスケッチしてみると、次回以降の皆既月食を観察するときに比較することができます。

ちなみに、写真に撮影する方法で色を比較することは意外と難しいです。デジタルカメラの場合、色合いはカメラ側で自動調整されてしまうことが多いので、何年か経った後の月食で、前回と同じカメラを同じ設定で同じように撮影するということは意外と非現実的だったりします。

月食でのもう一つの観察ポイントは、食の始まり終わりの時刻や、皆既の始まりや終わりの時刻が意外とはっきり観察から決められないという点です。予報では、月食の始まりの時刻や終わりの時刻はきちんと計算されているのですが、実際に観察してみると、食が始まったようなまだ始まっていないような曖昧な時間帯が意外と長いことが分かります。これは皆既の始まりや終わりもそうです。実際に観察して体験してみましょう。

9月8日皆既月食の進行	
部分食の始まり	1:27
皆既食の始まり	2:30
食の最大	3:12
皆既食の終わり	3:53
部分食の終わり	4:57



2011年12月10日の皆既月食(左)と
2014年10月8日の皆既月食(右)

飯山 青海(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	16	土	深夜から17日未明にかけて、すばる食/●下弦(14時)
	19	火	水星が西方最大離角(明け方の東の空で観望好機)
	23	土	●新月(15時) 処暑(太陽黄経150°)
	29	金	旧七夕

月	日	曜	主な天文現象など
8	31	日	●上弦(15時)/二百十日
9	7	日	白露(太陽黄経165°)
	8	月	○満月(3時) 皆既月食(1:26~4:57)
	13	土	水星が外合
	14	日	●下弦(20時)